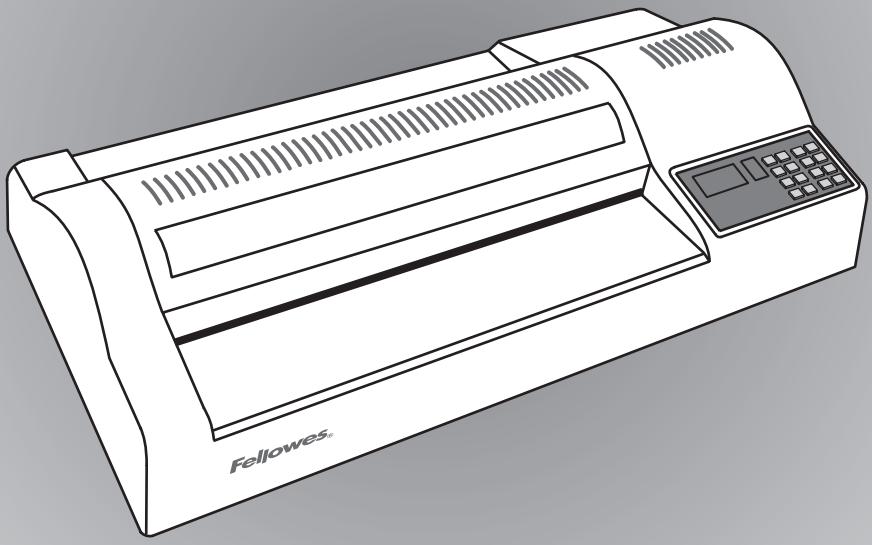
フェローズ ラミネーター

Proteus A3



取扱説明書・保証書

フェローズ ジャパン株式会社
〒141-0031
東京都品川区西五反田4-32-1
東京日産西五反田ビル2号館7F
Phone. 03-5496-2401（代）

fellowes.co.jp

目　次

目次 1

使用上の注意 2

はじめに 4

本機の特長 4

内容物の確認 5

ラミネートの前に… 6

ラミネート作業上の注意 6

ラミネートフィルムについて 7

各部の名称と働き 8

温度／スピード設定ガイド 11

ご使用方法 12

お手入れの方法 16

こんな時は… 17

製品仕様 18

保証書 19

使用上の注意

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

警　告

お子様だけでの使用、幼児の手の届くところでの作業はしないでください。
※怪我、感電の恐れがあります。

マシン本体の上面及びラミネート直後のフィルムは、高温になっていますので十分に注意してください。
※高温のためやけどをする恐れがあります。

ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。怪我をする原因になる恐れがあります。もし引き込まれた時は、ただちにリバースボタンを押してください。

濡れた手で電源プラグを扱わないでください。
※感電の恐れがあります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせたりしないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

ご自分で分解、改造、修理をしないでください。
※感電や思わぬ怪我をする恐れがあります。

電源コードを高温の表面に接触させないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

注　意

このマシンは用紙・印刷物・写真専用のラミネーターです。
ラミネート以外の目的には使用しないでください。

絶対に可燃物（セロファンなど）、軟化しやすい物（塩ビ、ポリエチレンなど）など、ラミネーター専用のフィルム以外は入れないでください。
※火災の恐れがあります。

ラミネーター操作中はそばを離れないでください。

紙幣・クレジットカード・金属・ビニール製品・布・木片などは、絶対にラミネートしないでください。

本機の上にものを載せたり、腰掛けたり、乗ったりしないでください。
※怪我の原因となる恐れがあります。

このマシンは必ず平らなところに設置し、マシンの後ろ側からラミネートしたものを取り出せるスペースを取ってください。

マシンや電源コード、コンセントなどに水がかからないように十分に注意してください。
※火災、感電の恐れがあります。

冷暖房機のそば、水のそば、高温多湿な場所、ほこりの多い場所で使用しないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

通常の操作以外に本機を清掃したり持ち運んだりする際には、必ず主電源スイッチをオフにし、プラグを抜いてください。
※怪我の原因となる恐れがあります。

電源プラグを抜くときは必ずプラグ部を持って抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

電源コードを棚の上などから下げたままにしないでください。
※怪我の原因となる恐れがあります。

電源コードは伸ばして使ってください。束ねたままで使うと加熱の原因になります。

電源は必ず AC100V 電源を使用してください。また、電源プラグは壁のコンセントに直接つなぎ、延長コード等はご使用にならないでください。タコ足配線はしないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

必ずアースリード線を接地（アース）してください。アース線は必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に接続してください。またアース接続をはずす場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてから、接続をはずしてください。

このラミネーターは日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

はじめに

このたびはフェローズラミネーター ProteusA3（プロテウス A3）をお買い求めいただき、ありがとうございます。
ProteusA3 は、カードサイズから A3 サイズまでの印刷物、写真などを簡単にきれいにラミネートすることができます。
ご使用になる前には、必ず取扱説明書をよくお読みいただきますようお願い申し上げます。
また、本取扱説明書は必ず保管してください。

本機の特長

内部加熱方式＆６本ローラー
ローラーの中心から加熱する内部加熱方式を採用しています。
前部４本のローラーで加熱され、後部の２本で冷却されることによりフィルム詰りや反り、波打ちを防ぎ、スピーディーな加工ができます。

高速ラミネート
最高 1050mm／分の高速でラミネートができます。

デジタル表示パネル
ラミネートの温度と速度の両方を細かく調整できます。また、その数値はデジタル表示されます。

最大2mmの厚さのラミネートが可能
ラミネートする紙の厚さは、フィルムも含めて２mmまで可能です。また、250ミクロンのフィルムにも対応しています。

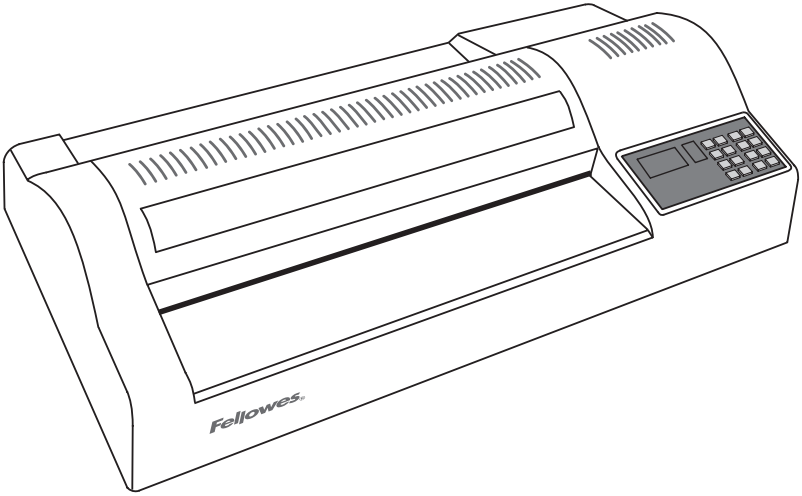
コールドラミネートも可能
熱で圧着する通常のラミネートと異なり、裏面に糊のついた専用のフィルムを使い常温で圧着する方法です。和紙、感熱紙、クレヨン画など熱により変色変質する紙などもラミネートできます。

リバースボタン搭載
万一フィルムの挿入に失敗しても、リバースボタンを押すことにより一度挿入したフィルムを手前に戻して排出することができます。

内容物の確認

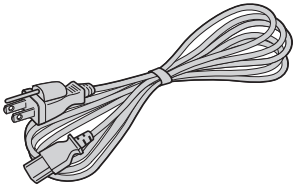
下記のとおり、本体および付属品があることをご確認ください。

■本体



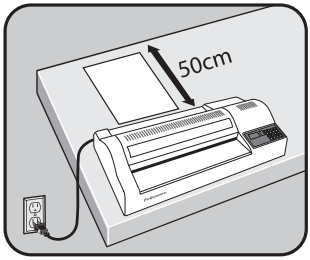
■取扱説明書（本書）

■電源コード



■クリーニングシート

ラミネートの前に・・・



このラミネーターは平らな安定した場所で、電源ソケットのプラグの着脱が容易にできる場所に設置してください。
ラミネーターの後部はラミネートされたものを容易に排出できるように十分なスペース（50cm）をとって設置してください。
また、周辺には燃えやすいものを置かないでください。

ラミネート作業上の注意

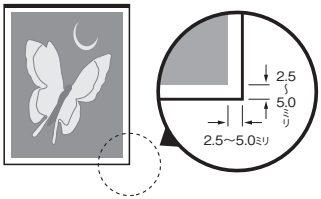
ラミネーターは操作や使用法の誤りによりラミネートに失敗したり、フィルムを巻き込んで故障する場合があります。以下に書いてある注意事項をよくお読みの上、厳守してご使用ください。

ラミネートしてはいけないもの

- **ラミネートしてはいけないもの**
  金属・ビニール製品・布・木片など、紙以外のもの
  可燃物（セロハンなど）
  軟化しやすいもの（塩ビ、ポリエチレン製品など）
- **たった一枚しかないような大切なものをラミネートすることはお避けください。**
  万一失敗したり内部に詰まったりすると、元どおりに再生することができません。
- **資料や写真をはさまないフィルムだけのラミネートはしないでください。**
- **フィルムも含めて厚さ2mm より厚いものはラミネートできません。**
  無理にラミネートしようとすると本体の内部機構を傷め、ローラーやヒーターなどが破損する場合があります。厚紙をラミネートするときはあらかじめ厚みを計測してください。
- **本機は厚さ 75 ～ 250 ミクロンのラミネートフィルムに適応しています。**
  それ以外の厚さのフィルムではきれいにラミネートできません。また、故障の原因にもなります。

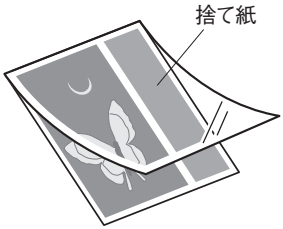
ラミネートフィルムについて

なるべくフェローズのラミネートフィルムをお使いください。フィルムの特性が合わないとフィルムにしわができたり、仕上がりが良くない場合があります。



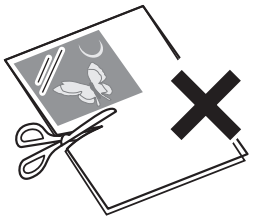
ラミネートするものより周囲が 2.5 〜 5.0mm ほど大きなフィルムを使用してください。

この幅が小さいと周囲がうまく接着されず、その部分からはがれる原因になります。
また、大きすぎると巻き込みの原因になります。



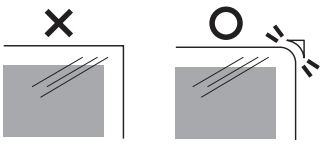
最適なフィルムがない場合は、大きめのフィルムを使用して、空白部分に捨て紙を入れてラミネートしてください。

ラミネートした後、ラミネートしたもののサイズに合わせてカットしてください。



ラミネートする前にフィルムをカットしたり、変形させたり継ぎ足したりしてお使いにならないでください。

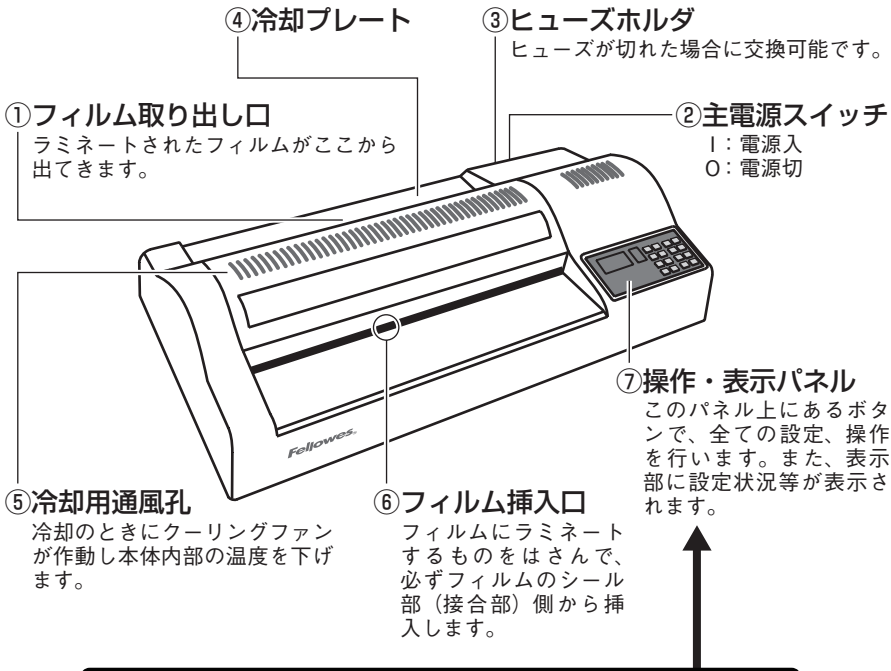
内部のローラーに巻き付いたり内部で詰まって故障の原因になります。

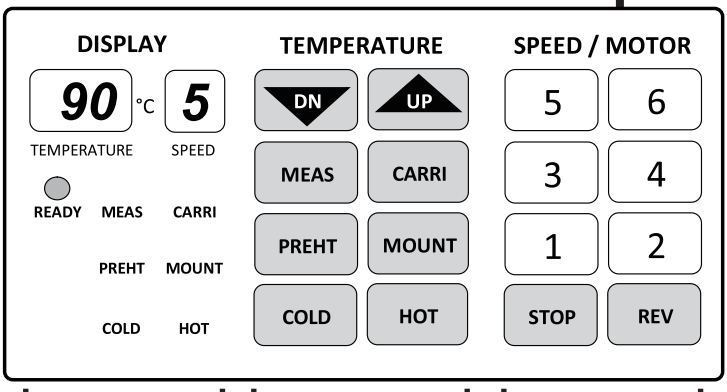


ラミネートした後にフィルムをカットされた場合は、コーナーを丸めてください。

とがった角で怪我をする恐れがあります。

各部の名称と働き





⑧LED表示部（→9ページ）
設定温度、設定スピード、READY、COLD、HOTなどの現在の設定状態を表示します。

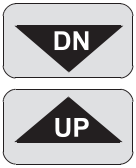
⑨温度調整及び各種設定ボタン（→10ページ）
温度の調整やそのほかの各種設定を行います。

⑩スピードの調整ボタン、及びストップ・逆転ボタン（→11ページ）
ラミネートの資料やフィルムの厚さに応じてスピードを選びます。また、場合によってはラミネートのストップ、逆転などを行います。

LED 表示部の説明

LED表示	名　　称	機　　能
90 °C	TEMPERATURE（温度表示）	通常はラミネート温度（ローラーの設定温度）が表示されます。 MEASボタンを押すと、現在のローラーの実温度が表示されます。
5	SPEED表示	現在のモータースピードが表示されます（0～6）。
READY	READYランプ	ラミネート可能な状態になると点灯します。
MEAS CARRI PREHT MOUNT COLD HOT	MEAS/CARRI/ PREHT/ MOUNT/COLD/ HOT （状態表示ランプ）	現在の状態を示します。 ・MEAS：現在のローラーの実温度を表示します。 ・CARRI：キャリアを使ったラミネートができます。 ・PREHT：別の厚みのラミネートをする場合のスタンバイ状態です。 ・MOUNT：厚みのあるラミネート（1mm以上）ができます。 ・COLD：コールドラミネートができる状態です。 ・HOT：ホットラミネートができる状態です。

温度調整及び各種設定ボタンの説明

ボタン	名　称	機　能
	DNボタン UPボタン	ラミネート温度の設定に使います。
	MEASボタン	このボタンを押すと、現在のローラーの実温度が表示されます。
	CARRIボタン	フィルムをキャリアにはさんでラミネートするときに押します。 ・ラミネート温度は100℃、モータースピードは2に自動で設定されます。
	PREHTボタン	別の厚みのラミネートをする場合のスタンバイ状態にするときに押します ・ラミネート温度は80℃、モータースピードは2に自動で設定されます。
	MOUNTボタン	厚みのあるラミネート（1mm以上）をするときに押します。 ・ラミネート温度は130℃、モータースピードは2に自動で設定されます。
	COLDボタン	コールドラミネートをするときに押します。 ・ラミネート温度は0℃、モータースピードは0に自動で設定されます。
	HOTボタン	ホットラミネートをするときに押します。

スピードの調整ボタン、及びストップ・逆転ボタンの説明

LED表示	名　称	機　能
5 6 3 4 1 2	スピードボタン	モータースピードを選ぶときに押します。ラミネートするものに応じて選んでください。 ・スピード1＝マウンティング・ボード ・スピード2＝250ミクロン&キャリアー使用時 ・スピード3＝200,175,150ミクロン ・スピード5＝125,100,80ミクロン
STOP	STOPボタン	このボタンを押している間、ローラーの回転がストップします。 離すと回転が再開します。
REV	REVボタン （リバースボタン）	このボタンを押している間、ローラーは逆回転します。離すと回転が再開します。 ・ラミネートフィルムが詰まった場合などに使います。

温度／スピード設定ガイド

フィルムの厚さ	温　度	スピード
75μ	87℃	5
100μ	95℃	5
150μ	100℃	3
175μ	100℃	3
250μ	110℃	2

※この表は一応の目安です。実際の材料によって数値の微調整を行ってください。

起動する

1 電源コードを取り付けます。

主電源スイッチが0の位置にあることを確認します。電源コードを本体に取り付け、電源プラグをコンセントに差し込みます。

2 電源を入れます。

主電源スイッチの I 側を押します。

このとき LED 表示部が点灯します。

コールドラミネートを行う場合は

「コールドラミネートを行うときは」（→ 13 ページ）をご覧ください。

ホットラミネートを行う場合は

「ホットラミネートを行うときは」（→ 13 ページ）をご覧ください。

コールドラミネートを行うときは

1 COLD ボタンを押します。

2 MEAS ボタンを押します。

ローラーの温度が 30℃以下であることを確認します。

3 READY ランプが点灯したら、スピードボタン2または3を押します。

4 コールドラミネート専用のラミネートフィルムを用意し、「ラミネートする」（→ 14 ページ）に進みます。

ホットラミネートを行うときは

1 HOT ボタンを押します。

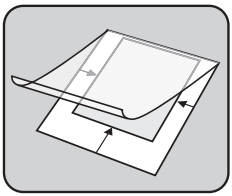
2 ラミネート温度とスピードをラミネートの厚さに合わせて調整します。

- ラミネート温度：自動で 90℃にセットされています。DN ボタンまたは UP ボタンを押して調整してください。
- スピード：スピードボタン 1 ～ 6 を押して調整してください。
- 特殊なラミネートをする場合には、CARRI ボタン、PREHT ボタン、MOUNT ボタンを使うことができます。詳しくは「各部の名称と働き」をご覧ください。

3 READY ランプが点灯したら、「ラミネートする」（→ 14 ページ）に進みます。

ラミネートする

1



ラミネートするものをラミネートフィルムのシール部（接合部）の奥まできちんと入れて挟みます。

⚠注意
- 接合部に余白があると、巻き込みなどの原因になりますので、奥まできちんと入れてください。

---

2 シールされた側から**挿入口に平行**に静かに差し込みます。

⚠注意
- ななめに入れるとフィルムがしわになったり、途中で詰まって故障の原因になります。
- フィルムのシール部（接合部）以外のところから挿入するとフィルムがめくれて内部で詰まったり、ローラーに巻きついて故障の原因になります。
- 冷却プレートは必ずきちんと装着し、決して取り外したりしないでください。取り外すとラミネートの仕上がりが悪くなる場合があります。

ポイント
- ラミネート作業を中止する場合は、REV ボタンを押します。ブザーがなり、手前からフィルムが排出されます。

---

3 ラミネートが終了したフィルムを後部取り出し口より取り出します。

ホットラミネートの場合は、平らな場所に置き数秒間冷ましてください。

⚠注意
- 途中で後ろから引っ張ったりしないてください。
- 続けてラミネートするときは、必ず前にラミネートしたものを取り出した後、次のラミネートフィルムを入れてください。
- ホットラミネートの場合は、フィルムが熱くなっていますので充分ご注意ください。

ラミネート作業が終了したら

1 ローラーのクリーニングをします。

付属のクリーニングシートか同程度の厚さの紙を数回空通ししてローラーのクリーニングをします。（→ 16 ページ）

2 COLD ボタンを押します。

温度は0℃、モータースピードは2に設定され、冷却ファンが始動してローラーの冷却が始まります。

ローラーが 60℃以下に下がったら、冷却ファンは自動で停止します。

> ⚠ 注意
> ・マシンが熱い状態ではスイッチは切らないでください。ローラーのコンディションを保つために、ある程度冷やしてからスイッチを切ってください。

3 電源を切ります。

主電源スイッチの O 側を押します。

4 続けて使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの方法

本体のお手入れ

柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい時は水で薄めた中性洗剤を少量布につけて拭いてください。本体のお手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

⚠ 注意

● シンナー、ベンジン、クレンザーなどは変形や傷の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

ローラーのお手入れ

ラミネーターは1枚ラミネートするごとに、フィルムの接着剤が内部のローラーに少量づつ付着して汚れてきます。毎回ラミネート作業終了後、電源を切る前に、ローラーのクリーニングをしてください。

付属のクリーニングシートか同程度の厚さの紙を数回空通ししてください。ローラーの汚れが紙に吸着されてクリーニングされます。

ラミネート作業を開始する前にも、このクリーニングを行うと、より効果的です。

ヒューズの交換

本体後部のヒューズが切れた場合は、以下の要領で新しいヒューズと交換してください。

1 本体の主電源スイッチの○を押して、電源を切ります。

2 電源プラグをコンセントから抜きます。

3 本体後部のヒューズホルダをマイナスドライバなどで開けます。

4 新しいヒューズと交換し、ヒューズホルダを閉めます。

⚠ 注意	● 必ず定格のヒューズをお使いください。定格以外のヒューズをお使いになると、本体の破損や怪我の原因になることがあります。 （ヒューズの定格：125V/10A）

こんな時は・・・

現象	原因	対処法
電源が入らない 動かない	電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？	電源プラグを正しくコンセントに入れてください。
（ホットラミネートご使用時） 仕上がりが白っぽく曇っている	ラミネート温度が低すぎます。または、ラミネート速度が速すぎます。	ラミネート温度を高く、またはモータースピードを遅く設定してください。
（ホットラミネートご使用時） 仕上がりが波をうっていたり、気泡が出ている	ラミネート温度が高すぎます。または、ラミネート速度が遅すぎます。	ラミネート温度を低く、またはモータースピードを速く設定してください。
ラミネートフィルムの表面が汚れる	ローラーが汚れています。	付属のクリーニングシートか同程度の厚さの紙を使ってクリーニングしてください。
ラミネートフィルムがはがれる	ラミネートする紙が厚すぎます。	フィルムも含めて厚さが2mmより厚いものはラミネートできません。
	ラミネート温度は合っていますか？	設定を確認し、合っていないときは再度調整してください。
	紙以外の材質のものをラミネートしていませんか？	本機は紙専用のラミネーターです。プラスチック･金属･ビニール･布等はラミネートできません。
	特殊な紙をラミネートしていませんか？	紙にコーティング処理または油分が含まれている特殊紙はラミネートできません。
	フィルムの大きさが合っていますか？	ラミネートするものより周囲が2.5～5.0mmほど大きなフィルムを使用してください。
ラミネートフィルムが取り出し口から出てこない	フィルムがラミネーターの中に詰まっています。	ただちに、REVボタンを押して手前から取り出してください。

製品仕様

品名	Proteus A3
品番	5709201
外寸法	H140×W560×D300mm
質量	14.5kg
挿入幅	330mm/A3
消費電力	800W
電流	8A
電源	AC100V 50/60Hz
ウォームアップ時間	約3分
冷却時間	30～60分
ラミネート方式	ホットラミネート／コールドラミネート
加熱方式	ホットローラー - 内部加熱方式
温度設定	60～130℃
ローラー本数	6本
最大ラミネート厚	2mm
適用フィルム厚	75ミクロン～250ミクロン
ラミネート速度	0～1050mm/分
対応最厚加工紙	250g/m^2
対応最薄加工紙	64g/m^2
フィルム詰り対策	マニュアルリバース
保証期間	1年間